

ラジオ大阪制作番組 平成17年日本放送文化大賞 中央審査会提出作品に決定！

平成17年日本放送文化大賞中央審査会提出作品
「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」

ラジオ大阪が制作しました「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」が、平成17年度日本放送文化大賞（主催：日本民間放送連盟）において近畿地区審査会（平成17年7月8日実施）のラジオ番組代表として中央審査会提出作品に決定しました。

日本放送文化大賞は、質の高い番組がより多く放送されることを促すことを目的とし、聴取者の期待に応えるとともに、放送文化の向上に寄与したと評価されるすぐれた番組に贈られる本年度より創設された賞です。

「番組ジャンルを設けない」、「審査委員構成を限定する」、「受賞番組の全国向け再放送の制度化」、「受賞に対し報奨金を贈呈する」という点で、民放の放送番組に関する最高の賞として位置づけられています。

全国7地区の審査で中央審査に提出する番組を1作品選出します。その後、7作品による中央審査が行なわれる2段階審査によりグランプリが決定されます。

「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」（平成17年5月28日0時～1時放送）は、太平洋戦争末期、大阪大空襲で大怪我を負った人々が60年たった今でも苦しみ続けている現状を描いたドキュメンタリー。若い世代に聞いて欲しいというコンセプトの元、深夜帯で放送を行なった。

ラジオ大阪では、「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」を終戦記念日の平成

17年8月15日午後2時より再放送を行なう。



ラジオ大阪 OBC ダイヤル1314